

2014年6月17日

森永製菓独自素材“パセノール™”に関する研究成果
「有効成分ピセアタンノールの優れたアンチエイジング効果に関して
栄養・食糧学会および抗加齢医学会で発表」

森永製菓株式会社（東京都港区芝、代表取締役社長・新井徹）では、健康分野における機能性素材の開発を推進してまいりました。その中でパッションフルーツの種子中にアンチエイジング機能を有する“ピセアタンノール（Piceatannol）”※1が豊富に存在していることを発見し、森永製菓独自の健康素材「パセノール™（アルファベット表記：Passienol™）」を開発しました。

「パセノール™」の有効成分である“ピセアタンノール”は、アンチエイジング素材として注目されている“レスベラトロール（Resveratrol）”※2と非常によく似た構造であり、当社ではこれまでに血管弛緩作用やコラーゲン分解抑制・産生促進作用、メラニン合成抑制作用などを明らかにしています。

この度、5月30～6月1日に札幌で開催された「第68回日本栄養・食糧学会大会」および6月6～8日に大阪で開催された「第14回日本抗加齢医学学会総会」において、“ピセアタンノール”に関する新しい研究成果を発表いたしました。

発表した内容は、ラットにおける経口投与実験で血中代謝物を比較し、“ピセアタンノール”は“レスベラトロール”と異なり、メチル化代謝物がアグリコンとして存在すること、“ピセアタンノール”およびその代謝物にも抗炎症活性があること、また、“ピセアタンノール”が長寿遺伝子サーチュインを誘導するだけでなく、そのメチル化体にも同様なサーチュイン誘導活性があるという画期的な研究成果です。

これらの研究成果は、“ピセアタンノール”を有効成分とする「パセノール™」を摂取することで、“レスベラトロール”よりも優れたアンチエイジング効果を発揮できる可能性を示していると考えています。

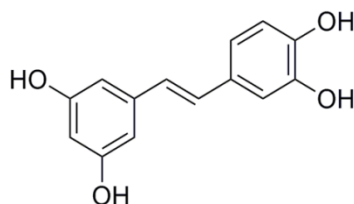
当社では、独自素材「パセノール™」を利用したアンチエイジング製品の開発をさらに推進していきます。

Passienol™のロゴ；



Passienol™

※1 ピセアタンノールの構造式



※2 レスベラトロールの構造式

